

4 /

大正八年
三月廿八日

高第九一四六號

獨立運動ニ関スル件 (第廿九報)

一、京城

(三月二十八日午前十時迄ノ情况)

大
極
秘

前報(第廿八報)騒擾中安國洞警察官派出所ニ
投石窓硝子ヲ破壊セリ而シテ同日首謀者廿
九名ヲ檢擧セリ

二十七日朝滿鐵京城管理局職工約八百名ハ

他ノ脅迫ニ依リ元町三四丁目ニ於テ万歳ヲ

高唱シ休業セリ

又同日市内各所ニ於テ群衆ハ獨立万歳ヲ高
唱シ騒擾ヲ極メ内約百名ノ群衆ノ如キハ

高張提灯ヲ樹テ旧韓國旗ヲ打振リ有洞警察
官派出所ニ素襲シ投石窓硝子ヲ破壊セシヲ
以テ首謀者ヲ逮捕シ直ニ解散セシメタルカ
暴民二名ハ逃走ノ際負傷シ其ノ後死亡セリ
(多分暴民)投石ニヨリ負傷シタルモノナラン尚市内各所
ニ於テ首謀者一二名ヲ檢擧セリ
又暴民ハ同夜西大門通鐘路通及共倉町ニ於
テ電車ニ投石シ窓硝子六枚鎧戸二枚ヲ破壊
セリ

市外

二十七日安甘川附近ニ約五百名及敦岩里附

二、地方（三月二十八日午前十時迄ノ情况）

（一）京畿道

楊州郡龍頭里

二十三日青雲面龍頭里ニ

於テ天道教徒ヲ中心トスル

約百五十名ノ群

衆運動ヲ開始セシヲ

以テ首謀者十三名ヲ逮

捕シ解散セシメタリ

同郡道峯里

二十六日庫海面道峯里ニ約

四百名ノ群衆ヲ高唱セシモ直ニ解散セ

シメタリ

同郡上鳳里

二十七日約三十名ノ群衆運

動ヲ開始セシヲ以テ憲兵出張十九名ヲ檢舉
シ解散セシメタリ

水原郡松山面

二十六日松山面事務所ニ

約百名ノ群衆旧韓國旗ヲ打振リ押寄せタル
モ直ニ解散セシメタリ

長湍郡東場里

二十六日虛海面東場里ニ

於テ約百五十名ノ群衆運動ヲ開始シ面事務
所ヲ襲ヒ投石窓硝子破壊セシモ直ニ制止解
散セシメタリ

始興郡良才里

二十六日果川面良才里ニ

於テ約三百名ノ群衆運動ヲ開始セシモ解散
セシメタリ

廣川郡上一里 二十七日上一里憲兵駐在

所周圍ノ高地五六ヶ處ニ約千名ノ群衆運動
ヲ開始セシメ目下鎮壓中ナリ

坡州郡交河 二十七日瓦石面交河ニ於テ

約七百名ノ暴民運動ヲ開始シ面事務所ヲ襲

ヒ窓燭子及屋根ヲ破壊シ且面書記二名ニ投

石負傷セシメ尚交河憲兵駐在所附近ノ數ヶ

所ニ於テ約五百名ノ群衆篝火ヲ焚キ万歳ヲ

高唱シツツアルヲ以テ坡州分遣所ヨリ憲兵

急行鎮壓中ナルカ暴民ハ暴行反抗セシニヨ
リ止ムナク發砲シ彼ニ負傷者一名出セリ

(三) 忠清北道

沃川郡伊院

二十七日伊院市場ニ於テ約

六百名ノ暴民運動ヲ開始シ伊院憲兵駐在所
ヲ襲ヒ投石又ハ所内ニ闖入シ暴行ヲ極メレ
ヲ以テ止ムナク發砲シ暴民ニ死者一名負傷
者数名ヲ出シタルカ尚沃川憲兵分隊長以下
急行シ目下鎮壓中ナリ

(三) 忠清南道

大田郡大田

二十七日大田市場ニ於テ十

名ノ鮮人宣言書ヲ配布シ万歳ヲ高唱シタル
ヲ以テ首謀者五名ヲ逮捕セリ

(四) 慶尚南道

梁山郡梁山

二十七日ノ梁山市日ヲ利用

シ青年ヲ中心トスル約二千ノ群衆不穩文書
ヲ配布シツ、運動ヲ開始シ市内ヲ練り歩キ
極力解散ヲ命スルモ肯カス却テ全地憲兵分
遣所及郡廳ニ押寄せ暴行ニ出テントセシヲ
以テ空包ヲ發射シ首謀者五名ヲ逮捕シ解散
セシメタリ

(五) 黃海道

信川郡信川

二十七日信川ニ於テ耶蘇教

徒ヲ中心トスル約二百名ノ群衆運動ヲ開始

セシニヨリ首謀者以下三十名ヲ逮捕シ解散

セシメタリ

殷栗郡殷栗

(既報第八報) 殷栗ノ運動ハ未

援ノ歩兵ト協力シ二十六日無事解散セシメ

タリ

(六) 江原道

横城郡横城

二十七日横城市場ニ於テ十

二名ノ鮮人旧韓國旗ヲ振リ騒シ運動ヲ開始

セシヲ以テ關係者八名ヲ檢擧シタルカ市場

ノ各商店ハ危險ヲ慮リ開店セリ依テ原州ヨ
リ憲兵三名歩兵四名赴援セリ

三事件ニ對スル外國人ノ言動

京城駐在米國總領事館書記エフバスクハ某韓
人ニ對シ今回ノ事件ニ関シ日本人ハ米國人
宣教師共ノ他ノ外國人ニ對シ甚シク惡感ヲ
抱キ居レリ現ニ時事新報ニハ獨立宣言書ヲ
米國總領事館ニテ印刷セリト登載シ又朝鮮
新聞ニ常ニ外人ヲ中傷攻撃スル記事ヲ掲ゲ
居レリ故ニ吾人モ之ニ報ユル為露骨ニ亘ラ
サル範圍内ニ於テ朝鮮人ヲ援助スヘシト語

レリト云フ

報告先

總督

政務總監

各部長官

總務局長

檢事正

陸軍大臣

參謀總長

軍司令官

師團長

關東都督

憲兵司令官

圖書記官長

招徠局長官

內務次官

外務次官

警視總監

關東警務總長（各道部長（間島浦沙派遣員）